

教員名	さの りゅうへい 佐野 竜平
専門分野	インクルーシブな国際協力・アジア地域開発、障害と開発、東南アジア
ゼミのテーマ	アジアの障害インクルーシブな国際協力・開発
ゼミの内容	<p>東南アジアを中心に、アジアにおいて障害の有無に関わらずコミュニティに関わっていくインクルーシブな国際協力・開発の研究をしています。特に、①東南アジア各国における障害分野と他の関連分野(児童・高齢者・マイノリティ等)に関する政策・実践の違い、②日本・東南アジア・その他アジアの違い、③コミュニティに生きるニーズを抱える人たちと実際の施策の違い、を常に念頭に置いていきます。国際協力の世界共通指針となっている持続可能な開発目標(SDGs)を縦軸としたとき、自らの興味・関心を横軸において研究を進めるイメージです。</p> <p>具体的な演習のポイントは以下のとおりです。また、ゼミ合宿やフィールドワークでは、日本・東南アジア・その他アジアに通じる視点を土台に、現地コミュニティに溶け込んだ実践体験のできるプログラムを展開しています。</p> <p>1. 専門演習Ⅰ 本演習では、教員の実践・研究とゼミ生の関心・成長の機会を織り交ぜながら、幅広い観点からインクルーシブな国際協力・アジア地域開発を見る力を養っていきけるように配慮していきます。</p> <p>2. 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅰを通じて高めた問題意識について、具体的で専門的な活動を自ら企画し、実施していきます。他のゼミ生および外国人を含む関係者との意見交換・議論の中で、インクルーシブで国際的な実践力・考察力を高めていきます。</p> <p>3. 専門演習Ⅲ 専門演習ⅠとⅡで高めた学びを具体的に「見える化」します。インクルーシブでかつ国際的な観点から各ゼミ生の主体性を尊重しつつ成果としてまとめ、将来につなげていきます。</p> <p>東南アジアを中心にアジア各地の現地政府・NGO 等との様々な連携活動を参照しつつ、ゼミが行われています。人生の中でも極めて貴重な大学生の一時期において、将来国際舞台で活躍するかけがえのない仲間づくり・ネットワークとなるゼミを描いています。将来何らかの形で障害の有無に関わらないインクルーシブな視野を持つ人材の育成につながることを願っています。</p>
次年度選考会 選抜方法	<p>1. 下記のテーマについて、レポート(A4サイズで2枚程度)を提出してください。</p> <p>①自分の言葉による自己紹介(400字程度)。 ②ゼミ志望動機(400字程度)。 ③教員が担当している科目への興味・関心(400字程度) ④語学力を含めた今後の目標や見通し(400字程度)。 ⑤アジアで具体的にしたい活動(800字程度)。</p> <p>2. 上記を参考にして、面談を行います。</p>